

☆☆☆高齢者歯科保健研修会『高齢者の口腔—どんな状態？どんなケアが必要？』☆☆☆

- ・日時：6月20日(日) 10:55～13:00
- ・場所：いきいきプラザ島根 403 研修室
- ・コース名：リフレッシュコース—高齢者歯科保健 2単位
- ・演題：①「高齢者の口腔を知り、口腔ケアにつなげる」

講師名：島根大学医学部歯科口腔外科講座 助教 松田 悠平氏

- ②「口腔ケア用品の実際—高齢者が抱えやすい問題に対処するには」

講師名：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社
エキスパートセールス 百崎 千紘先生

- ・参加人数：50名[会員45名 会員外歯科衛生士5名]



講演①では松田先生から、高齢者の口腔機能の特徴について説明があった。今回は特に口腔乾燥症に着目してご講演いただいた。唾液の役割、口腔乾燥症の誘因や対応に加え口腔乾燥を取り巻く疾病についても学ぶことができた。また、口腔機能を知るための様々な検査も教えていただき、口腔ケアを行う際のアセスメントの重要性を再認識できた。改めて口腔健康管理がQOLの維持・向上につながるということがわかった。

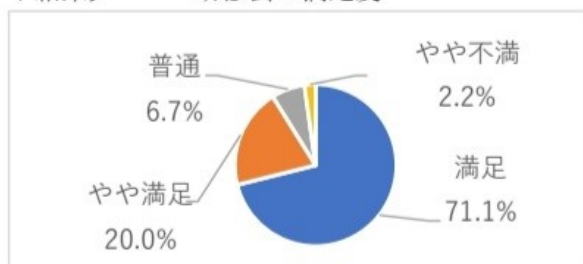
講演②では百崎先生から、症例に合った商品の正しい選択方法や使用方法について事例を交えて説明があった。具体的に商品ごとの注意事項を聴くことができ、対象者への指導の際または質問されたときの参考になった。また、口腔乾燥の対応として口腔周囲筋の機能訓練や体幹保持の重要性についても学ぶことができた。

お二人の先生方のご講演の中に共通して口腔乾燥と義歯についても取り上げられていた。義歯の不適合に悩んでいる高齢者は多いので今回の研修会はその参考になった。

研修後のアンケートからも、「高齢者の口腔についての理解が深かった」、「アセスメントの重要性がわかった」、「義歯安定剤、洗浄剤の正しい使い方がわかった」、「保湿剤について知ることができた」等ほとんどの受講者が研修会の内容に満足し今後活用できると回答していた。

今回の研修会では音声の乱れ等不手際もあったが、今後もWEBでの研修会の希望が多く寄せられた。その要望に応えられるよう研鑽に努めていきたい。

[アンケート結果] ・研修会の満足度



・研修会の活用度



[研修会の感想や習得したこと]…抜粋

- ・口腔機能低下症についてよく理解できて良かった
- ・本日の研修で事業所の方々に、保湿に始まり保湿で終わることが口腔乾燥の対処になることを伝えたいです
- ・OHATについてや口腔乾燥の対処法はとても参考になった
- ・義歯用安定剤はネガティブなイメージしかなかったが、その人に合った使い方をすれば食品多様性低下も防げ、食べる喜びに繋がるなど勉強になりました
- ・市販されているポリデントやポリグリップなどの正しい使用方法を知ることができました
- ・適合の悪い義歯をしようしている患者さんに粘着型義歯安定剤を積極的に勧めるのではなく、かかりつけ歯科を受診していただくよう伝えたいと思いました